

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳スケートセンター	所管課	教育委員会 スポーツ健康課
所在地	北杜市小淵沢町上の原3989-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成6年12月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県体育協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳スケートセンター設置及び管理条例		
設置目的	スケートの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 27,240㎡ ○施設の内容 ・スケートリンク(1周 400m、幅13m) ・記録棟(38.88㎡) ・管理棟(475.23㎡ 事務室、休憩室、トイレ、更衣室、貸靴コーナー) ・倉庫兼休憩所(270.00㎡) ・車庫(53.60㎡)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用の承認に関する業務 (3)周辺宿泊施設等と連携した利用促進PR活動 (4)近隣小中学校へのスケート教室誘致 (5)スピードスケート競技大会会場の誘致		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1)小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(屋内60m×30m) (2)富士急ハイランドコニファーフォレストセイコオーバル(屋外400mトラック)
---------------------	---

3 利用状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	利用者数	18,260	18,390	18,409	
	利用者数合計	18,260	18,390	18,409	
	目標値	16,940	18,080	18,080	19,135
目標値設定の考え方及びその理由	施設存続の条件である目標利用者数。				
対27年度比		100.7%	100.8%		
利用率	210人/日	216人/日	202人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料	6,630,610	5,626,000	6,694,930	5,626,000
	指定管理者委託料	51,144,000	51,152,000	51,152,000	51,297,000
	その他	204,538	142,000	193,700	142,000
	収入合計(A)	57,979,148	56,920,000	58,040,630	57,065,000
支出	人件費	7,271,433	7,874,000	7,240,229	8,204,000
	県への納付金				
	管理運営費	48,266,833	49,046,000	49,791,579	48,861,000
	うち外部委託費(B)	26,061,620	26,062,000	26,867,300	26,062,000
支出合計(C)	55,538,266	56,920,000	57,031,808	57,065,000	
収支差額(A-C)	2,440,882		1,008,822		
外部委託比率(B÷C)	46.9%	45.8%	47.1%	45.7%	
利用者一人当たりの経費	2,781.1	2,829.2	2,778.6	2,680.8	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成29年12月～平成30年1月 実施方法:一般利用者、競技利用者へのアンケート 回答数:223人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設・設備管理	45.8%	45.5%	7.8%	0.9%
利用規程	70.9%	25.7%	3.4%	
職員の対応	69.0%	26.4%	3.2%	1.4%
売店	51.7%	35.2%	10.8%	2.3%
施設全般の満足度	61.3%	33.2%	5.1%	0.4%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりをつけてほしい。 ・駐車スペースが少ない。 ・手続きに時間が掛かる。回数券等があれば良い。 ・親切で感じが良かった。丁寧な対応でした。 ・軽食の種類がほしい。休憩テントにも自販機があると良い。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望が多くあった手すりを営業終了後にリンクサイドに設置した。 ・施設・設備の要望については、指定管理者として積極的に取り組み、可能な限り対応したが、経費のかかる施設の整備・修繕については、今後、県との協議を十分行った上で対応を検討する。 ・貸靴受付への案内板やスケート靴のひもの縛り方の説明書きを主要箇所に表示した。混雑時には、ホールに職員を配置し受付待機者の整理及び案内を行い利用者の便宜を図った。 ・製氷管理委託業者とともに、利用者が満足感を得られるよう接客に留意した。寄せられた意見を可能な限り反映し、今後とも真心のこもった接客に努める。

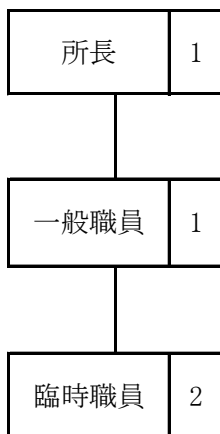
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設、設備及び備品は正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的な保守点検、修繕等を行った。また、良好な環境衛生、美観の維持に心がけ、快適な空間を保つため、営業中の清掃に加え、開場前・閉場後に清掃を行うなど環境美化に努めた。	施設の維持管理については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 引き続き、利用環境の維持や安全確保に努め、適正に業務を行うこと。
運営業務	施設の利用案内、各種団体の調整、広報宣伝活動を行い、利用促進に努めた。本県開催のスケート国体、平昌五輪開催に伴いスケート競技による本県選手及び日本人選手の活躍が期待され、スケートへの関心が高まることから、利用者増を狙い営業日を6日間延長の協議を行い実施した。 また、危機管理として災害時対応の確認や訓練研修を実施し、事故防止に努めた。	施設運営については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 今後も利用促進や事故防止に努めるなど、適正に業務を行うこと。
利用状況	近隣観光商業施設や県内小学校への優待券付きパンフレットの配布、観光情報誌や山梨県、北杜市の広報誌等様々な利用促進を図り、利用者の拡大に努めた結果、昨年度を上回る18,409人の来場者数となった。	各種利用促進を図り、前年度利用者数を上回り、目標を達成できた点は評価できる。 今後も関係団体と連携したPR活動を行い、平日の利用者数の確保や観光利用を含めた利用方を検討するなど、引き続き利用者数増加に努めること。
収支状況	燃料費は厳冬により重油の使用量が少なく、暖房もこまめに温度調整を行い、利用者に快適な環境を保つ中で省エネに努めた結果、業務計画上の当初想定より経費削減が図られた。また、設備の老朽化等に対応するため、修繕費が業務計画上の当初想定より増加した。	経費節減分を老朽化への対応や利用者の快適性向上のために、施設の修繕に充てるなど、利用者の利便性や安全確保に努めている。 引き続き、収入の増加や経費節減に努めること。
自主事業	休憩所内に貸靴コーナーを設置し、手軽に施設を利用できるようにするとともに、設置場所を工夫し混雑緩和を図った。 毎週土日、祝祭日、年末年始に、臨時売店による軽食販売を行い利用者サービスの向上に努めた。	自主事業については、業務計画書どおりに業務が行われている。 引き続き、利用者の利便性を確保するための取組を実施すること。
利用者満足度	職員全員がおもてなしの心を持ち、サービスの向上を図り、利用者のニーズに迅速に対応するよう努めた。要望や指摘をいただいたところは今後改善を図り、さらに利用者の満足度が向上するよう努める。	初めて施設を利用する人にもきめ細やかな案内ができるよう、特に混雑時の対応の向上や利用者のニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用者数目標の18,080人に対し、18,409人の利用があった。目標達成率101.8%であり、目標人数を329人上回った。今年度は、11月20日(県民の日)に営業開始することができ、この日が月曜日ではあったが381人の利用となった。利用者減少が懸念される中、様々な利用促進を図り、利用者の拡大に努めた。</p> <p>また、本県開催のスケート国体、平昌五輪開催に伴いスケート競技による本県選手及び日本人選手の活躍が期待され、スケートへの関心が高まることから、利用者増を狙い、営業日を6日間延長の協議を行い実施した。このようなことが目標人数達成の要因と考えられる。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設維持、運營業務について業務計画に基づき適正に業務が行われている。また、経費節減分を活用し、利用者からの要望が多かった手すりを設置するなど、必要な修繕を行い、良好な利用環境の維持が図られている。</p> <p>利用者数についても目標を達成しているところであるが、今後も関係団体と連携したPR活動を行い、平日の利用者数の確保や観光利用を含めた利用方策を検討するなど、利用者数増加に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の環境美化や維持管理を徹底し、お客様に気持ちよく、また、安全に利用していただけるように努める。</p> <p>維持管理経費は徹底して無駄を省き、コスト削減に努める。</p> <p>利用者の意見、要望を把握し、可能な限り迅速に業務へ反映させ、サービスの向上に努める。</p> <p>各関係団体と連携して施設PR活動をより積極的に行い、利用者数の増加に努める。</p>

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在



所長	1 人
一般職員	1 人
臨時職員	2 人
合計	4 人